

28日.

伴修平 (2016) 過剰な水草資源に活用, 中日新聞, 朝刊 16 面, 2016 年 7 月 29 日.

伴修平 (2016) 水草の廃液でクロレラ, 読売新聞, 朝刊 33 面, 2016 年 7 月 30 日.

伴修平 (2016) 水草発酵シクロレラ精製, 滋賀彦根新聞, 2 面, 2016 年 7 月 30 日.

伴修平 (2016) 「湖の厄介者」水草活用, 朝日新聞, 朝刊 29 面, 2016 年 9 月 8 日.

伴修平 (2017) 野菜くずで循環型農業—農家「悩みの種」を液肥に, 京都新聞, 朝刊 1 面, 2017 年 2 月 24 日.

小泉尚嗣 (2016) 滋賀に関係する活断層の特徴や備えの重要性, 京都新聞, 2016 年 4 月 27 日.

小泉尚嗣 (2016) 東海地震対策の見直しについて, MBS 報道局 (毎日放送の報道局の公式 facebook), 2016 年 7 月 5 日.

2) TV, ラジオ番組への出演等

伴修平 (2016) びわ湖放送スポットニュース, びわ湖放送, 2016 年 7 月 27 日.

伴修平 (2016) NHK ジャーナル, 琵琶湖の夏の厄介者とのさらなる戦い, NHK ラジオ第 1, 2016 年 9 月 1 日.

小泉尚嗣 (2017) 滋賀県の地震リスクと震災軽減のための備え, エフエム滋賀, 2017 年 2 月 11 日.

小泉尚嗣 (2017) 東日本大震災 いま知るべき危険, びわ湖放送, 2017 年 3 月 10 日.

3) その他

なし

環境政策・計画学科

1. 受賞

香川雄一 (2016) 科学研究費審査委員表彰, 日本学術振興会.

金原達夫・村上一真 (2016) 2016 年度環境経営学会学会賞 (学術貢献賞), 環境経営のグローバル展開: 海外事業およびサプライチェーンへの移転・普及のメカニズム, 環境経営学会.

村上一真 (2016) 2016 年度環境科学会論文賞, 住民の森林環境税制度受容に係る意思決定プロセスの分析: 手続き的公正の機能について, 環境科学会.

2. 著書

藤塚吉浩・高柳長直編 (2016) 図説 日本の都市問題, 香川雄一「都市緑地・市民農園」, 「ヒートアイランド・クールアイランド」, 「水害」, 「廃棄物処理」, 「都市の財政問題」, 古今書院, pp.96-97, pp.106-107, pp.108-109, pp.116-117, pp.120-121.

滋賀県立大学地域共生論運営委員会編 (2017) 地域共生論 300 人規模のアクティブラーニング, 林宰司, 第 9 章「自然と地域との共生①—未来の持続可能な社会をいかに描くか—」サンライズ出版社, 滋賀.

村上一真 (2016) 環境配慮行動の意思決定プロセスの分析: 節電・ボランティア・環境税評価の行動経済学, 中央経済社, p.282.

Kimbara, T. and Murakami, K. (2016) Does Corporate Social Responsibility Enhance International Transfer of Environmental Management?, 126-138 (Chapter 6), in M. Bruna Zolin et al. (eds.) Economic Change in Asia: Implications for Corporate Strategy and Social Responsibility, Routledge.

3. 論文

上河原献二 (2016) 侵略的外来生物管理における早期対応論と政策過程—水陸両生外来植物対策に関する事例研究, 環境情報科学学術研究論文集, 30, 133-138.

上河原献二 (2016) 侵略的外来植物オオバナミズキンバイにフランス社会はどのように対応してきたのか, 水資源・環境研究, 29(2), 71-78.

Takuya Takahashi, Koji Matsushita, Wil de Jong (2017) Factors affecting the creation of modern

property ownership of forest commons in Japan: An examination of historical, prefectural data. *Forest Policy and Economics*, 74, 62-70.

高橋卓也 (2017) 農業集落の特徴から見た入会林野近代化の進展度の違い, 入会林野研究, 37, 67-72.

松下幸司, 高橋卓也 (2017) 入会林野の所有権登記の意義変更に関する一考察, 入会林野研究, 37, 73-75.

平山奈央子, 和田有朗 (2016) 共分散構造分析を用いた琵琶湖流域の現状評価に影響を与える要因に関する研究, 水資源・環境研究, 29 (2), 64-70.

平山奈央子, 宮上勇人 (2016) 廃棄物減量等推進員制度の類型化に関する研究, 都市清掃, 69 (334), 71-79.

平山奈央子 (2016) 参加型灌漑管理における管理者のコミュニケーションに影響を与える要因に関する研究, 環境情報科学術研究論文集, 30: 163-166.

矢守裕貴, 村上一真 (2016) 違反駐輪抑止に対するポジティブメッセージ「感謝」の効果検証: 大学構内での社会実験に基づく実証, 土木学会論文集 G(環境), 72(5), I_85-I_91.

Kimbara, T. and Murakami, K. (2016) Does Financial Performance Enhance the Transfer of Environmental Management Practices to Overseas Subsidiaries?, *Journal of Business and Policy Research*, 11(1), 86-97.

和田有朗, 山内九仁男 (2016) ため池群の成り立ちおよびため池環境を守る今後の保全管理についての考察—いなみ野台地を事例として—, 環境情報科学 学術研究論文集, 30, 231-236.

4. 作品

なし

5. 報告書、その他著作、一般向け記事

1) 科研費他外部研究費による研究の成果報告書

なし

2) 受託研究等の報告書

なし

3) ハンドブック、辞典、図鑑などへの執筆

なし

4) 新聞、一般向け雑誌等への解説記事など

香川雄一 (2016) 北ドイツのラムサール条約湿地. 滋賀

県立大学環境科学部環境政策・計画学科コラム (2016年4月25日).

香川雄一 (2017) 南ベトナムのラムサール条約湿地. 滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科コラム (2017年1月17日).

香川雄一 (2017) 埴淵知哉 (中京大学): 統計的社会調査と健康地理学—マルチレベルデータの構築・共有に関する展望— (2016年大会特別研究発表—報告・討論の要旨および座長の所見—), *人文地理*, 69 (1), 10-15.

高橋卓也 (2016) 地理地図資料 特別付録, 世界の産業の最前線を見に行く! カナダの林業編【専門家解説】カナダの林業〜持続可能性への挑戦〜, 帝国書院, 2016年.

高橋卓也 (2016) 「3部 環境保全と酒造り—地域振興—」『ひと・健康・未来』Vol.11, 2016年12月号, 公益財団法人ひと・健康・未来財団, pp.15-20.

高橋卓也 (2017) 大会感想記〜生産森林組合に関する制度改正からサイロ・シンドロームを考える〜, 入会林野研究, 37, 42-44.

6. 学会等への発表

秋山道雄・小野奈々・平山奈央子・中村公人・橋本慧子・皆川明子 (2016) 愛知川流域圏における水利システムの特性と課題, 水資源・環境学会 2016年度研究大会, 法政大学市ヶ谷キャンパス, 東京都, 2016年6月4日.

平井幸弘・浅野敏久・金科哲・伊藤達也・香川雄一・Funck Carolin・Nguyen Van Hoang・Hoang Ngoc Minh Chau (2016) ベトナム・メコンデルタにおけるラムサール湿地の現状と課題, 地理科学学会大会, 東広島市, 2016年6月4日.

香川雄一 (2016) 漁業者の視点からみた持続可能な環境利用: 日韓の事例を通して, 地理科学学会大会, 東広島市, 2016年11月26日.

上河原献二 (2016) 侵略的外来生物管理における早期対応のパラドックス—水陸両性外来植物対策に関する事例研究—, 第20回環境法政策学会, 三重大学, 津市, 2016年6月18日.

上河原献二 (2016) 侵略的外来種管理における早期対応論と政策過程, 第30回環境情報科学術研究論文発表会, 日大会館, 2016年12月5日

Hiroto Shiraki (2016) Estimating the hourly electricity profile of Japanese households for improving the accuracy of integrated assessment

- model, 22nd AIM International Workshop, Ibaraki, Japan, (2016年12月9～10日)。
- 高橋卓也, 田中勝也 (2016) 森林からの公共財供給メカニズムの実証計量分析—森林環境税, 森林・山村多面的機能発揮対策交付金, 緑の募金を対象として—, 2016年林業経済学会 秋季大会, 島根大学, 松江市, 2016年11月13日。
- 高橋卓也, 田中勝也 (2016) 森林環境税における公共財供給量決定モデルの分析, 環境経済・政策学会 2016, 青山学院大学, 東京都, 2016年9月10日。
- Matsushita, K., T. Takahashi, S. Aoshima, K. Taguchi, Y. Yoshida, T. Senda (2016) Statistics of common forests in Japan: Changes between 1960 and 2000 derived from individual data of the World Census of Agriculture and Forestry, 7th International Conference on Agricultural Statistics (ICAS VII), FAO, Rome, 2016年10月26日
- Michi Sakai, Takuya Takahashi (2016) What factors contribute to raising awareness of forest environmental tax schemes in Japan? Joint Workshop of the UNECE-FAO Forest Communicators Network and IUFRO Communications and Public Relations Working Party, Portland, Oregon, USA, 2016年8月31日
- 平山奈央子, 和田有朗 (2016) 共分散構造分析を用いた琵琶湖流域の現状評価に影響を与える要因に関する研究, 2016年度水資源・環境学会第33回研究大会, 法政大学, 2016年6月4日。
- Hirayama, N., Kino, T. (2016) Impacts of participating measures for reduction of alien fishes in Lake Biwa, 第16回世界湖沼会議, インドネシア, 2016年11月7日～11日。
- 平山奈央子 (2016) 参加型灌漑管理のための水管理者のコミュニケーションに関する一考察, 第30回環境情報科学 学術研究論文発表会, 日本学会館, 2016年12月5日。
- 矢守裕貴, 村上一真 (2016) 違反駐輪抑止に対するポジティブメッセージ「感謝」の効果検証: 大学構内での社会実験に基づく実証, 第24回地球環境シンポジウム, 首都大学東京, 2016年8月31～9月2日。
- 村上一真 (2016) 住民の森林環境税制度受容に係る意思決定プロセスの分析, 環境科学会 2016年会, 東京都大学, 2016年9月7～9日。
- 和田有朗, 山内九仁男 (2016) ため池群の成り立ちおよびため池環境を守る今後の保全管理についての考察—いなみ野台地を事例として—, 第30回環境情報科学 学術研究論文発表会, 日大会館, 2016年12月5日。
7. 研究会等、講演会、特別講義での発表
- 1) 研究会等における発表
- 小野奈々 (2017) 仁平典宏著『「ボランティア」の誕生と終焉: <贈与のパラドックス>の知識社会学』のレビュー, 環境社会学研究会, 立命館大学東京キャンパス, 東京都, 2017年1月13日。
- 上河原献二 (2016) 侵略的外来植物オオバナミズキンバイにフランス社会はどのように対応してきたのか, 滋賀自然環境研究会第26回研究発表会, 2016年7月3日。
- 高橋卓也 (2017) コメント, 水資源・環境学会 2016 冬季研究会 (テーマ: 水と緑と企業の社会的責任), 大阪学院大学, 茨木市, 2017年3月4日。
- 平山奈央子 (2016) CSRにおける活動連携と参加型評価, 水資源・環境学会 2016年度冬季研究会, 大阪学院大学, 2017年3月4日。
- 和田有朗 (2016) 使用済み小型家電リサイクルに関する使用者の意識調査に基づく考察, 滋賀県立大学環境科学セミナー, 滋賀県立大学環境科学部 B0 会議室, 2016年10月7日。
- 2) 講演会
- 井手慎司 (2016) 瀬田川の歴史と琵琶湖の環境, 第18回近畿水環境交流会 in 瀬田川, ウォーターステーション琵琶, 2016年7月23日。
- 井手慎司 (2016) 持続可能な開発のための教育 (ESD) と滋賀県エコ・スクールプロジェクト, しが環境教育研究会, 琵琶湖博物館, 2016年8月5日。
- 井手慎司 (2016) 琵琶湖の水問題と世界, 日本エスペラント大会, ヴォーリズ学園, 2016年10月9日。
- 小野奈々 (2017) 特定非営利法人大阪障害者雇用支援ネットワーク定例会・講演会, 大阪赤十字会館, 2017年2月18日。
- 香川雄一 (2017) 滋賀県立大学における地理空間情報の利活用について, 地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官連携協議会 第3回総会, 大阪合同庁舎第4号館, 2017年2月20日。
- 金谷健 (2016) 水銀条約を踏まえた廃棄物対策の課題, 水銀条約から3年 蛍光管の適正処理をめざすフォー

ラム 2016, 特定非営利法人コンシューマーズ京都,
コープイン京都, 2016年10月12日.

高橋卓也 (2016) コーディネーター, 第3部環境保全
と酒造り一地域振興一, 第11回ひと・健康・未来シ
ンポジウム 2016 長浜「近江の自然と食の将来」長浜
バイオ大学, 長浜市, 2016年7月2日.

平山奈央子 (2016) 早崎内湖と地域住民との関わり, 平
成28年早崎ビオトープ15年あゆみ展, 早崎内湖ビオ
トープネットワーク, 早崎町公民館, 2016年11
月19日.

平山奈央子 (2016) 琵琶湖流域の環境保全は良い方向に
進んでいるのか?～活動成果の可視化と進捗点検～,
平成28年滋賀県小学校教育研究会環境教育部 会実
践交流大会, 米原市立春照小学校, 2016年11月22日.

平山奈央子 (2016) 多主体による連携と参加型評価の
新たな進め方, 第14回川づくりフォーラム, 守山市
コミュニティ防災センター, 2017年2月5日.

3) 授業

井手慎司 (2016) ゲーム理論で環境問題を考える (高大
連携授業), 滋賀県立大学, 2016年8月2日.

金谷健 (2016) 産業廃棄物の収集課程講習会での講義
(更新講習会: 環境概論), 公益財団法人日本産業廃棄
物処理振興センター, 四日市商工会議所 (2016年7
月21日), メルパルク京都 (2016年8月23日).

金谷健 (2016) 産業廃棄物の収集・運搬/処分課程講習
会での講義 (新規講習会: 中間処理・再生利用), 公
益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター, メルパ
ルク京都, 2017年3月8日.

金谷健 (2016) 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収
集・運搬/処分課程での講義 (更新講習会: 中間 処理・
再生利用), 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興セ
ンター, 四日市商工会議所 (2016年9月30日),
岡山商工会議所 (2016年10月21日), 静岡商工会
議所 (2016年12月7日).

高橋卓也 (2016) イースター島の環境問題 (高大連携授業),
滋賀県立大学, 2016年8月2日

林宰司 (2016) スーパーグローバルハイスクール事業
(ゼミ指導), 岐阜県立大垣北高等学校, 岐阜県大垣市,
2016年7月20日, 9月14日.

8. 展覧会等

なし

9. 競争的研究資金の導入

1) 本学特別研究

平山奈央子, 村上一真, 皆川明子他 (2016) 平成28
年度滋賀県立大学公募型地域課題研究, 住民参加型評
価による地域の魅力と課題の可視化, 平成28年度,
49.37万円.

2) 科学研究費補助金

井手慎司, 平山奈央子, 佐藤祐一 (2016) なぜ連携が
起きるのか?—環境保全活動における多主体連携の生
起要因に関する研究一, 基盤研究 (C), 平成28～
30年度, 140万円.

山崎孝史, 香川雄一, 北川真也, 飛奈裕美, 畠山輝雄,
二村太郎, 前田洋介, 岩下明裕, 崎浜靖, 福本拓
(2016) グローバル化の新局面における政治空間の変
容と新しいガバナンスへの展望, 基盤研究 (B), 平
成27～29年度, 20万円.

香川雄一, 村田陽平, 本岡拓哉 (2016) 大都市におけ
る疾病発生にともなう健康環境問題への人文地理学的
貢献, 基盤研究 (C), 平成28～30年度, 54万円.

高橋卓也, 松下幸司, 栗山浩一, 田中勝也, 宮崎淳
(2016) 社会が支える森林管理を実現する手法開発の
ための基礎研究, 平成27年度～30年度, 基盤研究 (B),
145万円.

平山奈央子 (2016) 課題解決型から多分野発散型の政
策へ: 琵琶湖保全政策の変化に影響を与えた要因の解
明, 若手研究 (B), 平成28～29年度, 180万円.

村上一真 (2016) 環境配慮行動の意思決定プロセスの
分析, 研究成果公開促進費, 平成28年度, 150万円.

金原達夫・村上一真 (2016) 環境経営の国際移転と海
外現地サプライヤーへの波及効果に関する研究, 戦的
萌芽研究, 平成28～29年度, 70万円.

和田有朗, 中野加都子 (2016) エネルギーリテラシー
教育プログラムが学習者の環境配慮行動に与える影響
の検証, 基盤研究 (C), 平成28～30年度, 66万円.

3) 政府および地方公共団体 (関連法人を含む) からの補 助金

なし

4) その他財団からの研究補助金

山本武, 野間直彦, 上河原献二 (2016) 学生と市民が主
体で取り組むナガエツルノゲイトウ等の駆除大作戦,
環びわ湖大学・地域コンソーシアム大学地域連携課題

解決支援事業，平成 28～29 年度，10 万円／年。
 平山奈央子（2016）住民と行政の協働川づくりのための
 コーディネート手法に関する研究，河川基金公益財
 団法人河川財団，平成 28 年度，78.6 万円。
 村上一真（2016）緑のカーテン実施促進に向けた情報
 提供のあり方の研究，第 14 回生協総研賞・助成事業，
 （財）生協総合研究所，27 万円。
 和田有朗，中野加都子（2016）携帯情報端末を活用し
 た消費者の環境配慮行動促進のためのエネルギーリテ
 ラシー教育手法の開発，（公財）電気通信普及財団，
 平成 28～30 年度，35 万円。

5) 受託研究の受け入れ

村上一真（2016）「滋賀の資源をつなぐ絆プロジェクト
 推進事業」モデル事業にかかる経済循環の検証，共同
 研究，滋賀県商工会連合会，平成 28 年度，39 万円。

10. 研究員の受入

なし

11. 特許、実用新案、品種登録、意匠、その他著作権に
 関わる事項

なし

12. 社会への貢献

1) 各種委員会

井手慎司（2016）滋賀県琵琶湖レジャー利用適正化審
 議会 会長，滋賀県琵琶湖政策課，1 回（2016 年 4 月
 ～2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）滋賀県学術フォーラム 委員，滋賀県
 琵琶湖政策課，1 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）マザーレイクフォーラム運営委員会
 委員，滋賀県琵琶湖保全再生課，8 回（2016 年 4 月
 ～2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）赤野井湾流域流出対策推進連絡会 会長，
 滋賀県琵琶湖政策課，5 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）滋賀県環境学習推進協議会 副座長，
 滋賀県琵琶湖保全再生課，5 回（2016 年 4 月～2017
 年 3 月）。
 井手慎司（2016）滋賀県環境こだわり農業審議会 会長，
 滋賀県食のブランド推進課，2 回（2016 年 4 月～
 2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）滋賀県生物多様性しが戦略推進専門
 家会議 座長，滋賀県自然環境保全課，1 回（2016 年

4 月～2017 年 3 月）。

井手慎司（2016）近江八幡市環境審議会 会長，近江八
 幡市環境課，3 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
 評議員，滋賀県琵琶湖環境科学研究センター，1 回
 （2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）国際湖沼環境委員会評議員会 評議員，
 国際湖沼環境委員会，2 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）世界湖沼データベース改修検討委員
 会 委員，国際湖沼環境委員会，2 回（2016 年 4 月～
 2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）淡海文化振興財団理事会 理事，淡海
 文化振興財団，2 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）未来ファンドおうみ運営委員会 委員長，
 淡海文化振興財団，7 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）淡海環境保全財団評議会 評議員，淡
 海環境保全財団，2 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）環境フォーラム湖東 代表，環境フォー
 ラム湖東，2 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 井手慎司（2016）NPO 法人 子どもと川とまちのフォー
 ラム理事会 副理事長，子どもと川とまちのフォーラム，
 18 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 香川雄一（2016）東京大学空間情報科学研究センター，
 客員研究員，1 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 香川雄一（2016）近江八幡市環境審議会，委員（副会長），
 3 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 香川雄一（2016）近江八幡市環境計画部会，委員（部会長），
 4 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 香川雄一（2016）近江八幡市風景づくり委員会，委員，
 1 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 香川雄一（2016）大津市環境審議会，委員，1 回
 （2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 香川雄一（2016）地理空間情報活用推進に関する近畿
 地区産学官連携協議会，委員，1 回（2016 年 4 月～
 2017 年 3 月）。
 金谷健（2016）滋賀県環境審議会（廃棄物部会，水・土壌・
 大気部会，温暖化対策部会，環境企画部会），委員・
 廃棄物部会長，12 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 金谷健（2016）「クリーンセンター滋賀」環境監視委員会，
 委員長，2 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 金谷健（2016）「買い物ごみ減量推進フォーラムしが」
 全体会議，座長，3 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。
 金谷健（2016）彦根市水道事業経営等検討委員会，副
 委員長，3 回（2016 年 4 月～2017 年 3 月）。

金谷健 (2016) 草津市新クリーンセンター運転管理業者選定委員会, 副委員長, 4回 (2016年8月～2017年3月).

金谷健 (2016) 守山市廃棄物減量等推進審議会, 委員, 2回 (2016年4月～2017年3月).

金谷健 (2016) 米原市コンポストセンター運営委員会, 会長, 1回 (2016年4月～2017年3月).

金谷健 (2016) 湖北広域行政事務センター新施設建設候補地選定委員会, 委員長, 5回 (2016年4月～2017年3月).

金谷健 (2016) 湖北広域行政事務センタークリスタルプラザ管理運営委員会, 委員長, 1回 (2016年4月～2017年3月).

金谷健 (2016) 湖北広域行政事務センター廃棄物減量等推進審議会, 会長職務代理者, 1回 (2016年4月～2017年3月).

金谷健 (2016) 彦根愛知犬上地域ごみ処理施設建設候補地選定委員会, 委員長, 6回 (2016年4月～2017年3月).

金谷健 (2016) 八幡市環境審議会, 副会長, 2回 (2016年4月～2017年3月).

上河原献二 (2016) 琵琶湖外来水生植物対策協議会, 構成団体代表者, 大津市, 3回 (2016年4月～2017年3月).

高橋卓也 (2016) 近江八幡市廃棄物削減等推進協議会, 副委員長, 委員, 近江八幡市, 3回 (2016年4月～2017年3月).

高橋卓也 (2017) 大津市森林整備推進審議会, 会長, 委員, 大津市, 1回 (2017年1月～2017年3月).

高橋卓也 (2016) 一般社団法人滋賀グリーン購入ネットワーク, 副会長・理事, 滋賀グリーン購入ネットワーク, 4回 (2016年4月～2017年3月).

高橋卓也 (2016) 長浜市森林ディレクション審議会, 会長, 長浜市, 2回 (2016年4月～2017年3月).

高橋卓也 (2016) リサイクル認定製品懇話会, 委員, 滋賀県, 1回 (2016年4月～2017年3月).

高橋卓也 (2017) ながはま森林マッチングセンター事業検討会議, 委員, ながはま森林マッチングセンター, 長浜市, 1回 (2017年3月～2017年3月).

林宰司 (2016) 特定非営利活動法人地球環境市民会議, 理事 (2016年4月～2017年3月).

平山奈央子 (2016) 滋賀県環境審議会 委員, 3回 (2016年6月～2017年3月).

平山奈央子 (2016) 長浜市総合計画審議会 委員, 1回 (2016年4月～2017年3月).

平山奈央子 (2016) 淀川水系流域委員会 委員, 3回 (2016年4月～2017年3月).

平山奈央子 (2016) 彦根愛知犬上地域ごみ処理施設建設候補地選定委員会 委員, 4回 (2016年12月～2017年3月).

平山奈央子 (2016) 河川レンジャー制度運営委員会 委員, 2回 (2016年4月～2017年3月).

平山奈央子 (2016) 大津市廃棄物減量等推進審議会 副会長, 1回 (2016年4月～2017年3月).

平山奈央子 (2016) NPO 法人碧いびわ湖理事会 理事, NPO 法人碧いびわ湖, 3回 (2016年10月～2017年3月).

平山奈央子 (2016) NPO 法人 理事, NPO 法人近畿環境市民活動相互支援センター, 2回 (2016年10月～2017年3月).

平山奈央子 (2016) マザーレイクフォーラム運営委員会 委員, 滋賀県琵琶湖政策課, 1回 (2016年4月～2017年3月).

村上一真 (2016) 彦根市工場等設置奨励審査会 委員, 彦根市商工課, 1回 (2016年4月～2017年3月).

村上一真 (2017) 長浜市環境審議会 会長, 長浜市環境保全課, 1回 (2016年4月～2017年3月).

和田有朗 (2016) 高島市環境審議会, 副会長, 2回 (2016年6月～2017年3月).

和田有朗 (2016) 高島市環境センター管理運営委員会, 委員, 1回 (2016年4月～2017年3月).

和田有朗 (2016) 彦根市廃棄物減量等推進審議会, 委員, 3回 (2016年10月～2017年3月).

2) 学会貢献

井手慎司 (2016) 環境システム計測制御学会評議員・編集アドバイザー, 環境システム計測制御学会, 1回 (2016年4月～2017年3月).

小野奈々 (2017) 環境社会学研究査読委員 (環境社会学会) (2017年2月～継続).

香川雄一 (2016) 地理科学学会, 会計監査 (2016年4月～2018年3月).

香川雄一 (2016) 人文地理学会, 選挙管理委員会 委員長 (2016年3月～2016年9月).

香川雄一 (2016) 人文地理学会, 庶務委員会 委員 (2016年10月～2017年9月).

香川雄一 (2016) 人文地理学会, 代議員 (2016年10月～2018年9月).

白木裕斗 (2016) エネルギー・資源学会, サマージャーナル

ショップ幹事, (2014年4月～継続).

高橋卓也 (2016) 水資源・環境学会, 理事, 2回,
(2016年4月～2017年3月).

高橋卓也 (2016) 『水資源環境研究』編集委員会, 編集
委員, (インターネット上で業務に従事), (2016年4
月～2017年3月).

高橋卓也 (2016) 林業経済学会, 評議員, 1回 (2016
年4月～2017年3月).

高橋卓也 (2016) 『林業経済研究』編集委員会, 編集委員,
1回およびインターネット上で業務に従事 (2016年4
月～2017年3月).

Takahashi, T. (2016) Corporate Social
Responsibility and Environmental Management
(John Wiley & Sons), Editorial Board Member, (イ
ンターネット上で業務に従事) (2016年4月～2017
年3月).

高橋卓也 (2016) 総合地球環境学研究所共同研究員 (研
究課題: 生物多様性が駆動する栄養循環と流域圏社会
-生態システムの健全性) (2016年4月～2017年3
月).

和田有朗 (2016) 環境情報科学 学術研究論文集 30, 査
読委員 (2016年7月～2016年8月).

3) 国際貢献・海外調査など

井手慎司 (2016) Country report presentation,
JICA 統合的流域 (河川・湖沼・沿岸域等) 管理による
水資源の持続可能な利用と保全, (財)国際湖沼環境委員
会, (財)国際湖沼環境委員会, 2016年8月22日.

井手慎司 (2016) Introduction to Lake Modeling,
JICA 統合的流域 (河川・湖沼・沿岸域等) 管理による
水資源の持続可能な利用と保全, (財)国際湖沼環境委員
会, (財)国際湖沼環境委員会, 2016年9月2日.

井手慎司 (2016) Conservation and Citizen activities
for Environment, JICA 統合的流域 (河川・湖沼・
沿岸域等) 管理による水資源の持続可能な利用と保全,
(財)国際湖沼環境委員会, (財)国際湖沼環境委員会, 2016
年9月23日.

香川雄一 (2016) イギリスの大都市における健康環境問
題の調査, 2016年8月29日～9月3日.

上河原献二 (2016) イギリス及びフランスにおける侵略
的外来水辺植物管理制度の調査, 2016年9月5日～
15日.

4) その他

なし

13. マスメディアとの対応

なし

環境建築デザイン学科

1. 受賞

金子尚志 (2016), グッドデザイン賞 2016年,
公益財団法人日本デザイン振興会, 木造住宅に
おける蓄熱環境 (熱の貯金箱)

金子尚志 (2016), キッズデザイン賞 2016年,
キッズデザイン協議会, いごこちくうかん (こ
どもが造る室内環境)

川井操研究室 (2016) トウキョウ建築コレクション
2016 プロジェクト展 審査委員特別賞, ト
ウキョウ建築コレクション主催,
RENOVATION

白井宏昌 (2016) 「西巣鴨小学校、築山プロジェ
クト - 子供たちのクリエイティビティを引出す、
遊び場の再生 -」日本空間デザイン賞 2016
入選

白井宏昌, 松岡拓公雄, 菊川裕規, 後藤優治, 嶋
崎迅, 中安未来, 平郡元貴, 堀江健太, 伊勢俊介,
上西昂文, 神戸 涼, 木下潤一, 木原湧, 黒崎
健士郎, 辻 祐実, 中村 優, 西本拓郎, 野田
慎治, 宮本佳奈, 山田亮 (2016) 変容するヨシ
集積構造体, 入選, 形態創生コンテスト, 日本
建築学会

陶器浩一 (2016) 福良港津波防災ステーション (構
造設計): 第 15 回公共建築賞優秀賞, 公共建築
協会

稲垣淳哉, 佐野哲史, 永井拓生, 堀英祐 (2016)
Dragon Court Village, 第 2 回 おかざき景観
賞 (おかざき景観賞実行委員会・岡崎市都市計
画課) 建造物部門

後藤優治, 堀江健太, 伊勢俊介, 中村優, 西本拓郎,
山田亮 (2016) Yoshi Pavilion ～数日間の水上
ステージ, 審査員賞, 第 3 回構造デザインコン
ペティション